

Aユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
	1 理念の共有	1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人として、その人らしく、普通に暮らしていける。」との独自の理念を挙げており、個別性を重視した理念となっている。しかし、「地域」を視野に入れた理念としては課題が残されている為、地域密着サービスとしては反映に至っていないように思える。	1	「地域密着サービス」を視野に入れた理念を検討し、今後のサービスに反映していくように努める。
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「その人らしく暮らしていける」とはどういう事なのかを職員全員が意識し、入居者様一人一人のケア方法を日々の申し送りや、毎月一回のケアカンファレンスで話し合い、必要に応じて個人記録等に残すようにすると共に、入居者様の日々の生活において必要な情報も同様に記録に残している。	1	理念について話し合う機会を毎月一回のケアカンファレンス等を通して検討し、サービスの反映に繋がられる様日々取り組んでいきたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関やリビングに掲示し、来訪された皆様に御理解して頂く様努めているものの、近隣の皆様が来訪される機会が殆んど無い為、浸透していないと思われる。	1	イベントに招待したり、地域便りを発行したりする等して、「地域で暮らすことの大切さ」を御理解して頂く。また、御家族の皆様にも訪問時や家族会、ホーム便り等を通じて御理解して頂ける様努める。
	2		地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
	2 地域との 支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に買い物や散歩に出掛け、近隣の皆様にお会いした時には挨拶を交わしあったり、時には農作物を分けて頂く等交流を持っている。	1	畑仕事を一緒にする機会を設けて頂いたり、近隣の皆様に参加して頂ける様な行事を企画する等して交流を持てる環境作りに努める。
5 外部 評価 3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の桜祭りや年末の餅つきに参加する等して地域交流に努めている。	1	運営推進会議等を通じて地域活動や地域行事への参加をより多く持ち、地域交流に努める。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今年度については、取り組みを行っていない。	1	老人クラブの食事会へ出向き、「認知症ケア」等の説明を計画している。また、地域の皆様に参加して頂ける様な介護教室等の開催や認知症に関する相談場所として確立できるように努める。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービスのマンネリ化を防ぎ、質の高いサービスの提供が出来る様見直す。この事を全職員が理解しており、自己評価を全職員で取り組んでいる。その結果については、毎月一回のケアカンファレンス等で報告し改善に努めている。	1	日々の業務の中で「質の高いサービス」を常に意識して取り組むよう努める。
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員の皆様事前に会議内容を文章にて配布し、会議への参加を呼びかけると共に意見の収集を行っている。また、会議では行事内容、事故等の報告を行い、意見や要望を頂く事している。実施状況については、次回の会議にて報告している。職員への報告は内容に応じて、毎月一回のケアカンファレンスや申し送りノートを活用して	1	委員の皆様意見を反映した事項を実施出来る様検討すると共に、御家族や地域の皆様の協力を得られるような取り組みを行なっていきたい。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の報告や事故報告書の提出、認定更新の為書類提出以外に行き来する機会はない。しかし、市が主催する研修会や交流会には積極的に参加するようにしていると共に、課題や問題が発生した場合等は電話で相談するように努めている。	1	イベントへの参加依頼やホーム便りの発行等積極的な連携に努める。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は、関連事業所との合同勉強会に参加する等して理解するよう努めている。御家族の皆様には家族会等を通じて説明する様にしているが、必要に応じてその都度管理者が説明する様にしている。現在、1名の男性入居者が権利擁護を活用している。	1	行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会を開催する等して、職員や御家族の皆様にも更なる理解を得られる様な機会を設けるよう努める。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	独自のマニュアルを作成し、それに添ったケアを行うと共に日々のミーティングや毎月一回のケアカンファレンスを利用して気が付いた点等を話し合い、注意を払っている。関連法に関して学ぶ機会は設けていない。	1	関連事業所の合同勉強会に提案したり、行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会等を開催して学ぶ機会を設けるように努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づき 運営	4 理念を 実践す るた めの 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に事業所見学をして頂ける方については本人も同伴して来て頂き、利用料金の説明や御本人、御家族の希望や要望を聞くようにしている。また、入居時には重要事項の説明や起こり得るリスク、重度化、看取りについての対応、医療連携の実態等を時間を取って説明し同意を得ている。	1	可能な限り御本人や御家族の気持ちになり、将来の事を含めて疑問等を引き出し、それに対して十分な説明を行えるよう努める。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の言葉や態度からその思いを察する努力を行い、入居者様本位の運営に努めると共に毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティング等で入居者様の気持ちや意見要望を共有し、それらを運営に反映出来る様努めている。	1	介護相談員等の訪問を受け入れ、入居者様の意見や要望等を外部の方へ話せる機会を設けるよう努める。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、経理から書面にて定期的に郵送し報告している。入居者様の健康状態については、御家族が来館された時に報告し、緊急時にはその都度電話にて報告している。また、館内に写真を掲示し日々の様子が分かるようにしている。職員の異動については事前報告はしていないものの、ユニットの入口に写真を掲示してい	1	ホーム便りの頻度を増やすと共に、介護支援専門員から定期的に文書や電話等を利用して報告するよう努める。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所の入口に苦情箱を設置し、意見や不満を無記名でも構わないので投函して頂く様面会時等をお願いしている。また、苦情相談窓口が市町村等にある事を重要事項説明書に記載し、入居時に説明している。と共に、御家族に対して面会時や家族会時に意見や要望等を気軽に伝えられる様な関係作りを心がけている。	1	関連事業所にも窓口を設置し、外部に表せる機会を設ける事で反映に努めている。また、日々御家族とのコミュニケーションを積極的に図り、和やかな雰囲気作りを心がけ、苦情の発信要因を探り質の向上に努める。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回のケアカンファレンス等で意見を出し合って具体的に話し合う機会を設けると共に、必要に応じて個人面談を行い反映出来る様努めている。	1	日々のミーティング等でも話し合える時間が確保出来れば、その都度話し合うようにして意見の反映に努める。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	施設全体のイベント開催や入居者様の外出支援には通常勤務者と別に職員を確保する等柔軟な対応に努めている。	1	管理者が状況に応じた勤務が出来る様に、通常勤務に換算しない等柔軟な体制作りを努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎月3日の勤務希望を受け入れると共に雇用条件に合わせた配置を行っている。また、突発的な勤務変更も可能な限り了承している。不定期ではあるものの、個人面談や食事会を実施する等職員のストレス解消に努めている。入職及び異動時にはきちんと入居者様に紹介している。	1	職員の意識統一、レベルアップを図る事で入居者様のダメージを防ぐ配慮に努める。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集、採用に至っては性別や年齢、経験、資格を理由に排除していないものの勤務時間や曜日の希望のある人については本人に対して面接時に確認している。資格取得を希望するときには試験前日は休みにする等の配慮をしている。また、希望する研修等にも積極的に参加できる様配慮している。	1	突発的な事態が発生しても対応出来る様職員の確保に努める。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティングの中で人権尊重を踏まえて話しをするようにしている。	1	関連事業所の合同勉強会に提案したり、行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会等を開催して学ぶ機会を設けるように努める。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員については独自の指導マニュアルを作成して個人に合わせた指導を行い離職防止に努めている。既存の職員については、関連事業所と3ヶ月に1回合同勉強会を開催すると共に県や市、GH協議会主催の研修会及び交流会には積極的に参加するよう努めている。また、後日資料を回覧する等して内容の共有に努めている。	1	ミニ勉強会の開催や研修等への参加を可能な限り実施していく。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会やサービス事業者協議会に加入し、研修会や交流会等に参加して同業者との情報交換に積極的に取り組むようにしている。	1	日々情報交換が行える様、インターネットの導入を検討しネットワーク作りに努める。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	問題発生時には、その都度個人面談を行ったり、不定期ではあるものの食事会を実施する等してストレスの軽減を図れるようにしている。職員の休憩する場所が館内がない。	1	日々の何気ない会話から職員の悩み等を読み取る等積極的なコミュニケーションを図るよう努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	組織として独自の就業規則を作成し、労働条件を整えている。また、年2回の健康診断を義務化し取り組んでいる。資格取得後は、本人の意向を重視しながら相談し、妥当な立場で業務が行える様努めている。	1	個々の状況を直接情報収集する機会を多く持つよう努めて頂く。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談があった際には、御本人を含め御家族の方と可能な限り直接面談を行い、センター方式を用いて生活状態、要望等を理解するように努めている。意思疎通が困難な方については、御家族の方に可能な限り詳細に情報収集するようにしている。入居決定後は自宅訪問し更なる情報収集に努めている。	1	ショート利用等体験的にして頂き、事業所の雰囲気を実際に味わって頂いてから入居の有無を判断して頂く様努める。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談があった時点で可能な限り、事業所を見学して頂き、入居相談に至るまでの経緯や今後の御希望等を話す機会を設け、御家族が求めているものを理解し、事業所としてどの様に対応出来るかを話し合うように努めている。	1	電話のみの入居相談であっても、可能な限り来館して頂く様お声掛けし直接面談できる機会を持つように努める。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談があった際には、なぜグループホームを希望されたのか、なぜ当ホームを希望されるのか等伺うようにして、内容次第で他事業所の利用を紹介したりしている。また、必要と思われる際には関連事業所の居宅サービスや行政の担当者に面談時同席して頂いている。	1	早急な対応が必要な相談者には、柔軟な対応が取れる体制作りを努める。
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院系列である為、意思疎通の困難な方がいきなり利用開始になるような事が多いものの、可能な限り御本人や御家族に見学に来て頂き雰囲気を体験して頂く。また、入居後は慣れるまでの1～2週間は職員が頻繁に関わりを持ち、御家族には可能な限り面会に来て頂く様お願いしている。	1	病院系列であっても、体験利用して頂いた後に利用して頂ける様努める。
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	6		
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様の得意分野を見つけ出し、レクリエーション等を通じて発揮出来る機会を多く持つように努めている。また、洗濯物を一緒に干したり畳んだりしてお互いが和やかに生活できるようにより良い関係を築いている。	1	入居者様は人生の先輩である事を常に意識し入居者様から学んだ事で現代でも生かせる事は積極的に実践するように努める。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の状態は個人記録に残し、御家族が面会に来られた時にはその都度日々の様子を伝える様にし、担当者会議等を通じて、情報共有並びに協力関係を気付ける様努めている。また、必要であれば記録を見て頂く様にしている。緊急時には、こまめに連絡を取り合い状態説明や対応方針等を説明する等の対応をしている。	1	担当者会議を通じて、日々のケア方針等を話し合いケアプランとして御家族担当部門を作ることによって共に御本人を支える為の支援が出来るよう努めている。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族、御本人の思いや状況を見極めながら、外出や外泊で御家族と一緒に過ごす事を勧めたり、季節行事に御家族の参加を呼びかけたりと御本人とより良い関係が継続出来る様心がけている。	1	疎遠傾向にある御家族には、ホーム便りや定期的な連絡で生活状況を伝えるようにし、御本人との架け橋になるよう努めている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	「家に帰りたい」と言う入居者様の希望を取り入れ、外出計画を起案し実施した。また、お墓参りや行き付けの美容院への外出等御家族の協力を得て実施する等一人一人の希望に応じた対応に努めている。	1	御本人の希望を聞きながら、可能な限り関係が継続出来る様に御家族の協力を得ながら支援して行ける様に努める。また、御家族の方を通じて可能な限り、知人の方に面会をして頂ける様お願いし、関係を継続出来る様努める。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事時や散歩時など入居者同士の関係が円滑になる様多くの会話を持ち、パイプ役として一人一人が孤立しない様働きかけている。また、不満や意見が出た際には居室で会話する等している。	1	不満や意見が出た時に限らず、利用者様同士の関係が上手くいく様今後も職員が調整役となって支援して行く様努める。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関連事業所や系列病院に移っている方が多い為、職員が時折訪問したりしている。	1	入居者様と一緒に散歩を兼ねて訪問する等関係の継続に努める。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	12	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で入居者様本人の希望や思い、意向の把握が出来る様密に関わるよう努めている。また、御本人のペースを尊重して食事や入浴等自由に対応し本人本位に努めている。と同時に本人馴染の家具等を持ち込んで頂き、安定した生活が継続的に送れるよう努めている。	1	毎月一回のケアカンファレンス等で御本人にとって何が最良なのか常に検討する事に努める。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に自宅に訪問したり、入居後も御本人との会話の中で生活歴を聞いたり、御家族の面会時やサービス担当者会議等を通じて情報を得る様にしている。	1	洗濯干しや洗濯たみ等実際に支援されている物もあるが、今後も御本人や御家族との会話を密に取り、より一層の把握に努める。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活リズムや一日の過ごし方等個人記録や申し送りノートに残し、職員全員で状態の把握に努めている。また、情報の中で「出来ない」と言われていた部分については必ず一度はチャレンジして頂き状態把握に努めている。	1	毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティングで再確認しあい全体的な把握に努める。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、御本人の思いや意見を聞きは反映出来る様、アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、ケアカンファレンスを行っている。また、サービス担当者会議には御本人を含め御家族に参加して頂き、可能な限り医師の参加もお願いし、作成に努めている。	1	インフォーマルなサービスを取り入れるよう努める。
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の進行状況や評価等を日々の記録に残し、定期的に(6ヶ月に1回、状態変化時はその都度)見直しを行い、サービス担当者会議を行うように努めている。また、ケアマネにより、毎月一回もモニタリングを実施している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを作成し、食事や身体状況及び日々の暮らしの様子、言葉、エピソード等を記録し、いつでも全職員が確認出来るようにしている。と共に、個別記録を基に介護計画の評価を毎日実施している。また、申し送りノートを作成し、業務開始前に確認し状態把握に努めている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 した柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	関連の医療機関と医療連携体制を結び、24時間対応に努めている。また、希望に応じて、看取りまでの生活継続をして頂ける体制を整えていると共に、ショートステイの利用も可能となっている。	1	近隣の認知症高齢者が状況に応じて利用出来る様な、柔軟な体制作りを努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	7	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消火避難訓練を年2回実施し、消防署と災害時における連携を確認すると共に、意見交換する機会を設けている。また、2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、民生委員の方を含め自治会等の皆様に参加して頂き、支援の協力を行っている。	1	地域の小学校や幼稚園等交流が図れる環境作りに努める。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	毎月訪問理美容サービスに来て頂いたり、ヤクルトの訪問販売も受け入れている。また、関連事業所で開催されている音楽療法にも参加している。	1	出向くだけでなく、向かい入れるイベントの開催等検討し、更なる連携に努める。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に委員として参加して頂いている事で、意見交換や情報交換をする機会を設け協力関係が築ける様努めている。	1	イベント等の参加を通じて関わりを持てる機会を更に多く持つ様努める。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の往診の他に、御本人や御家族の希望される医療機関並びに主治医への受診、通院介助を行っている。また、口腔関係についてはかかりつけの訪問歯科診療に来て頂き、関係を常に築いている。	1	利用契約時に御本人と御家族に説明し、同意を得ている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	開設当初より専門機関と医療連携を結んでをり、処方や相談必要に応じて検査をして頂いている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	平日はBユニットに看護師が常勤として配置されており、その他にも関連医療機関の看護師によるラウンドが定期的に(2週間に1回)行われており、気軽に相談出来る体制が整っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には介護サマリーとして、御本人の情報やケア方針について提供している。また、入院中はなじみの職員が可能な限りお見舞いに行くようにし、病院関係者や御家族と情報の交換を行い、今後の支援に繋げている。	1	退院後もスムーズな生活がなされて行ける様な介護計画作成に向けて、医療連携に努める。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用契約時に、御本人や御家族から終末期のあり方について御希望を伺っている。また、御本人や御家族の気持ちを尊重しつつ医療機関との連携を図り、御本人の状況説明や急変時の確認、看取り時期の医療内容の決定等納得されて最期を迎えられる様取り組んでいる。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態の変化に伴い、医療機関への入院時期や急変時の対応について密に連携を図るように努めている。	1	御家族の面会時や電話等で状態の報告を行うと共に、意思の確認にも努めている。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所等へ移られる際には、これまでの生活環境、支援の内容、留意点等介護サマリーとして文章で提供し、暮らしやケアの継続が保たれる様努めている。	1	馴染みの職員が訪問する等の機会を作り、ダメージの防止に努める。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	32	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)			自己評価30項目・外部評価9項目	25	
	1	その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
			52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様には、馴染みの呼び方や好まれる呼び方でお呼びしている。また、申し送りの際は出来るだけ他の人に聞かれない場所を選んだり、イヤホンを使用する事でプライバシーの保護に努めている。	1
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入浴やイベントの参加、散歩等入居者様の自己決定の尊重に心がけ、職員側で決めた事を押し付ける様な事はせず、食事の準備や洗濯物干し等自己決定する場面を設けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるものの、買い物や散歩等一人一人の気持ちを尊重し、声掛けに対して拒否があった際には後日改めて声掛けをする等柔軟な対応に努めている。	1	職員のペースにならない様、見直しを図る機会を設ける等して対応する様に努める。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	5	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の生活習慣に合わせて、その日の服装を選んでもらったり、化粧やおしゃれを楽しんで貰える様取り組んでいる。また、入居者様の希望によって御本人馴染みの美容院を利用して頂いている。	1	外出する機会を増やす等みだしなみやオシャレに対する意識の向上を図って行く。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事をする際には、職員が同じ物を同じテーブルで食べ、楽しく食事が出来る様に努めている。また、配膳や下膳を入居者様のレベルに合わせてお願いしている。	1	給食会議や厨房との連絡ノート等を活用して入居者様の嗜好が反映出来る様努めている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	入居者様が望むおやつ等を一緒に買いに出掛けたり、タバコも希望に応じて所定の場所で吸って頂いたり御本人の希望に応じた対応に努めている。	1	御家族から御本人の嗜好に合わせた物を持ち込んで頂く等嗜好物理解に努める。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンや習慣を個人記録に残す等して把握する様にしている。また、尿意の無い入居者様にも時間を見計らって誘導する事で排泄の失敗の減少やトイレでの排泄確立に努めている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に入浴日は決めているものの、入居者様の希望、体調に合わせた入浴が出来る様支援している。	1	昼夜を問わず入浴出来る環境作りを検討する

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お昼寝が日課となっている入居者様には、ゆっくりとして頂いている。また、夜寝つけない入居者様には一緒に添い寝したりする等して入眠を促している。	1	散歩等日中の活動を促し、夜間の良眠に繋がる様努める。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、洗濯たたみ、お盆拭き等御自分の力が発揮出来る機会を設けている。また、ラジオや音楽を好きな時に楽しめる様支援している。	1	入居者様の持っている知恵や経験を生かせる機会を多く持つ様努める。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に事務所で管理しているものの、御希望される入居者様には御家族の了承を得て所持して頂いている。また、使用についても御本人にお任せして、好きな様に使える様支援している。	1	希望する買い物をして、お金が使える様支援している。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や買い物を希望される入居者様には近隣のスーパーやコンビニ、公園に出掛ける様支援している。	1	戸外へ食事やお茶に出掛けたりと外出する機会を多く持つ様に努める。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	御希望があった際には、御家族に相談し計画を立て希望に添う様な支援をしている。	1	積極的な外出支援が行える様機会を設ける等検討する。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御希望があった際には、事務所の電話を使用して頂き、会話をする際はその場を離れる等プライバシーに配慮した環境作りに努めている。	1	御家族には、時折手紙を書いて頂く様お願いする等して環境作りに努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時間は特に設けておらず、面会時には入居者様と一緒にお茶を飲んで頂く等気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。	1	訪問された方と入居者様がゆっくりと過せる様な環境作りに努める。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	6	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所独自の教育マニュアルを作成すると共に、「高齢者の権利擁護」や「身体抑制」に関する合同勉強会を関連事業所と行っている。また、毎月一回のケアカンファレンスや日々の申し送りの中で職員の共有意識を図っている。	1	日々の申し送り等で、その日のケアを振り返り身体抑制が行われていないか等を確認するようにしている。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	御家族の皆様と職員とで検討した結果、事故防止を優先する目的で階段や玄関の内側扉を施錠するようになった。御家族及び職員は施錠しない事の大切さを理解しており、一緒に外出や散歩、買い物に出掛けたりとケア方法に工夫をする様に努めている。	1	近隣の方々に理解を求め、入居者様が一人で外出されているのを見つけた時は連絡して頂く等の関係作りに努める。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、最低3名の職員でリビング、居室等に居られる入居者様の対応をし、常に職員間で確認し合っている。また、夜間においては2時間毎に見回りを行い、(必要に応じて時間を短縮)安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物、火気類については職員管理にしており、希望に応じて貸し出す様にしている。その際は、職員全員で確認し合う事で危険を防いでいる。また、薬に関しては個々の状態に応じて職員管理にする様にしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	関連病院に発足されている安全対策会議に参加し、毎月1回インシデント、アクシデントとして報告書を提出している。安全対策会議で検討された予防対策を持ち帰り、ミーティング等で報告し再発防止に努めている。	1	日々の申し送りの中でも予測される危険等確認し、共有するようにしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事業所独自のマニュアルを作成し、目に付く場所に掲示している。と共に、マニュアルに添った対応が各職員出来る様に周知徹底している。また、消防署の御協力を得て普通救命講習の研修会を受けて事故発生に備えている。	1	勉強会や研修会を定期的に行う機会を設ける等技術の習得に努める。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所独自のマニュアルを作成すると共に、消防署の協力を得て年2回3月と9月に火災を想定した消火避難訓練を実施しており初期消火や避難方法の習得に努めている。また、災害時に備えて、缶詰や水、レトルト食品を準備している。地域の方への協力依頼については今後の課題である。	1	年2回に限らず、通報訓練等項目別に訓練を行う等して、技術の確立に努める。また、自治会行事へ積極的に参加し協力を得られる様努める。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況に応じて御家族に来訪して頂いたり、電話で報告する等して、状況報告や今後の方針等を説明する機会を設け話し合う様にしている。また、予測されるリスクについて職員間で話し合い、御家族に説明し、なるべく御本人の希望通りになる様対策を取っている。	1	来訪出来ない御家族については、その都度電話で報告する様にしている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	6	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員は、普段の状況を把握しており、「いつもと違う」事柄を発見した職員はバイタル測定や状態観察を行い、必要に応じて医療機関や管理者に報告して指示を仰ぐようにしている。	1	常に表情等を観察し、兆候を見落とさない様毎日のミーティングの中で確認し合い体調変化の早期発見に努めている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	「薬手帳」に処方箋を貼布し、職員全員が把握できる様にしている。と共に、服薬時は2名以上の職員で服薬確認を行っている。また、薬の必要性については、看護師が中心となって医師に相談し指示受けを行っている。	1	処方変更があった際には申し送りノート等を活用して職員共有に努める。また、服薬確認は声出し確認の徹底を図っている。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食のメニューに乳製品を取り入れたり、日々多めの水分摂取に努めている。また、腹部マッサージや軽い運動を働き掛ける事で自然排便出来る様支援している。必要に応じて、主治医や関連病院の医師に相談して下剤や整腸剤を処方して頂いている。	1	おやつメニューに食物繊維が多く入っている物や乳製品を取り入れ自然排便の促進に努めている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後や就寝前には、歯磨きやうがいの声掛けを行っている。また、入居者様の状況に応じて見守りや介助を行っている。	1	提供医療機関に専門医がある為、必要に応じて往診して頂き、指導相談をして頂いている。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態に応じて、食事形態を工夫して食べて頂いている。摂取量（必要に応じて水分量も）については毎日チェック表に記入するようにし、情報の共有に努めている。また、定期的に給食会議を開催し、栄養士との情報交換やアドバイスを頂く機会を設けている。	1	御家族や職員、栄養士間でアイデアを出し合い、御本人の食生活を共に支援出来る様に努める。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	事業所独自のマニュアルを作成すると共に、関連病院で開催されている感染対策会議に毎月1回参加して全職員で学習し、予防対策に努めている。また、インフルエンザの予防接種を職員と共に受けて頂いている。	1	各事業所で行われている感染症等の勉強会に参加し、感染に対する新しい情報収集、理解に努める。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類は洗浄後加熱消毒を兼ねて乾燥機にかけており、まな板や布巾等は毎晩漂白し清潔に心がけている。また、冷蔵庫のチェックを毎日行い賞味期限が切れて物は処分する等安全管理に努めている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	7	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にプランターを設置し、四季折々の花等を植えて明るい雰囲気作りを演出するようにしている。また、敷地内に犬を飼っており、近隣の方々に可愛がって頂いている。玄関先には毎年ツバメが巣を作り御家族の皆様も喜んでおられる。	1	プランターの手入れをこまめに行い、季節感を演出する様に努める。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	折り紙等を使用して季節の花を作成し掲示したり、使い慣れた家具等を持ち込んで頂いたりして御自分の家を意識した空間づくりに努めている。	1	個々の価値観や感覚を大切にしながら、居心地の良い空間づくりに取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下、リビングに椅子やソファを置き観葉植物やパズル等を飾り、入居者がゆっくりと居心地良く過せる空間作りに努めている。また、一人で過せるスペースも同様に確保している。	1	喫煙希望者には、他の入居者様に配慮した喫煙場所が確保されている。	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスとベット以外は、本人の馴染みの物や写真等使い慣れた日用品を持ち込んで頂いている。	1	御家族の協力が困難な入居者様には、観葉植物や花を準備する等の工夫に努めている。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝清掃を行う際には窓を開け、換気を行うと共に各居室に温度計を設置し、気候や入居者様御本人の状態や希望に応じて冷暖房の調整を行っている。トイレには消臭剤を置き、オムツ入れを開けた際には消臭スプレーを散布する等悪臭防止に努めている。	1	居室でオムツ交換を行う入居者様には、居室に消臭剤を置き消臭に努めている。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	2	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、出来るだけ自力で歩行等を安全に行える様配慮している。また、廊下やリビングには必要最低限の物しか置かない様に等環境を整えている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の居室入口にはネームプレートを下げたり、個人の持ち物には名前を記入する事で混乱を防ぎ、他の入居者様とのトラブル防止に努めている。	1	個人専用トイレを確保し、他の入居者様とのトラブル軽減に努めている。	
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターに花を植えたり、畑に芋の苗を植えたり家庭菜園に取り組んでいる。庭には犬を飼っており、いつでも触れ合える環境作りに取り組んでいる。	1	施設横の駐車場スペースを利用し、夏祭りや餅つきを開催する等有効活用に努めている。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。